



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社新川

コード番号 6274 URL <http://www.shinkawa.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 西村 浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員 (氏名) 田辺 哲也

TEL 042-560-4848

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,681	△35.5	△1,148	—	△1,401	—	△1,408	—
23年3月期第2四半期	11,902	267.3	△19	—	△355	—	△415	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △1,769百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △869百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△77.45	—
23年3月期第2四半期	△22.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	35,478	33,270	93.8
23年3月期	37,618	35,136	93.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 33,270百万円 23年3月期 35,129百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

平成24年3月期の連結業績予想については、現時点で合理的な通期の業績予想の算定が困難なため、第3四半期連結累計期間の業績予想のみ開示しています。第3四半期連結累計期間の業績予想については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	20,047,500 株	23年3月期	20,047,500 株
24年3月期2Q	1,871,699 株	23年3月期	1,871,584 株
24年3月期2Q	18,175,870 株	23年3月期2Q	18,176,344 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を受けています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、経済動向、為替レート、市場需要、諸制度等に関するリスクを含んでいます。実際の業績等は、様々な要因により、本資料における記述と大きく異なる可能性があります。

業績予想の背景、前提条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 補足情報 .....	9
最近における四半期毎の業績の推移 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ユーロ圏加盟国における財政金融問題の長期化、米国における失業率の高止まりと景気回復の遅れ、中国、インドにおけるインフレ抑制のための金融引き締めなど、多くの懸念材料を抱えて、先行きの不透明感が一層強まりました。

半導体業界においては、スマートフォンやタブレットPC関連のNANDフラッシュやモバイルDRAMの需要は堅調であったものの、7月以降、世界的な景気の減速を背景に、パソコンや液晶テレビなど消費者向け製品の需要が停滞したことから、需給バランスが軟化して急速に市況が悪化し、半導体メーカーの設備投資の延期や抑制が相次ぎました。

このような状況のもと、当社グループは、前連結会計年度に市場投入した製品の市場浸透を図ることで市場シェアの拡大に努めるとともに、製品設計の見直しによる原価低減の積み上げや海外調達の拡大など、収益性改善の取り組みを続けました。また、為替レートの変動に対応できる体制の拡充のため、タイでの委託生産を開始しました。これらの結果、ワイドボンディングエリア対応ワイヤボンダUTC-3000WEの受注の拡大、Cuピラー対応LSI用フリップチップボンダの出荷開始など、製品の市場浸透の面では一定の成果を挙げることができましたが、市況悪化の影響を受け、売上高の減少を余儀なくされました。また、利益面では、製品原価は着実に低下し続けていますが、円高が一層進行したことにより、原価低減の効果が相殺されたことから、厳しい状態が続きました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,681百万円（前年同期比35.5%減）、営業損失1,148百万円（前年同期は営業損失19百万円）、経常損失1,401百万円（前年同期は経常損失355百万円）、四半期純損失1,408百万円（前年同期は四半期純損失415百万円）となりました。

### （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より2,140百万円減少し、35,478百万円となりました。主な増加は、仕掛品1,020百万円であり、主な減少は、現金及び預金1,098百万円、受取手形及び売掛金1,725百万円です。

負債合計は、前連結会計年度末より274百万円減少し、2,208百万円となりました。主な増減は、買掛金の減少180百万円です。

純資産は、前連結会計年度末より1,866百万円減少し、33,270百万円となりました。主な増減は、四半期純損失の計上および配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,499百万円です。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の93.4%から93.8%となりました。

#### （キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より1,081百万円減少し、10,397百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、663百万円の支出（前年同期は3,836百万円の支出）となりました。主な増加は、減価償却費354百万円および売上債権の減少額1,649百万円によるものであり、一方で主な減少は、税金等調整前四半期純損失1,401百万円の計上およびたな卸資産の増加額1,417百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、240百万円の支出（前年同期は1,185百万円の収入）となりました。その主な要因は、定期預金の払戻による収入433百万円の資金の増加に対し、定期預金の預入による支出440百万円および有形固定資産の取得による支出184百万円の資金の減少によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、92百万円の支出（前年同期は93百万円の支出）となりました。その主な要因は、配当金の支払額92百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

半導体の需要を左右する世界経済の先行きの不安が高まっていることから、半導体メーカー各社は新規の設備投資に対して慎重な姿勢を維持しており、現時点では、半導体組立装置市場の調整がどの程度持続するかを見通すことが難しい状態にあります。

当社グループは、タイでの自社工場設立準備など、市場のアジアシフトに対応した事業活動のグローバル化、現地化とともに、半導体製造の技術革新に貢献するTSV用フリップチップボンダ、Cuピラー用フリップチップボンダの開発など、製品技術での差別化により、収益の改善、拡大を図っています。また、グローバル調達の拡大やタイでの委託生産の開始により、為替レート変動への対応力は向上しつつあります。これらの施策を着実に推進することで、早期の黒字化の実現に向けて邁進していますが、収益性の高い企業体質への転換にはまだ相応の時間が必要です。

このような状況において、当社グループは、昨今の急速に悪化した市況に対応するために、10月以降、一時帰休を実施するとともに、取締役報酬の減額の継続および管理職給与の減額を実施して人件費を低減するなど、事業環境を考慮した合理化を図っていますが、市場動向が不透明な現状では、通期の業績予想を合理的に算定することは困難であると考えます。このため、直近の受注状況など、現時点において当社グループが把握する情報に基づき、第3四半期連結累計期間の業績のみ予測し、次のとおり開示します。

平成24年3月期第3四半期（累計）連結業績予想（平成23年4月1日～平成23年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	10,700	△1,570	△1,790	△1,820	△100.13
増減額 (B - A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期第3四半期実績 (平成23年3月期 第3四半期)	16,369	△253	△727	△786	△43.26

なお、為替の想定換算レートは、77円/米ドルです。

通期の連結業績予想については、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示します。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、連結子会社の法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しています。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,988	10,890
受取手形及び売掛金	7,152	5,428
商品及び製品	3,464	3,748
仕掛品	1,262	2,282
原材料及び貯蔵品	605	712
その他	867	466
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	25,338	23,524
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,929	4,929
その他(純額)	2,148	2,010
有形固定資産合計	7,076	6,939
無形固定資産		
その他	243	217
無形固定資産合計	243	217
投資その他の資産		
投資有価証券	3,288	2,858
その他	1,674	1,941
貸倒引当金	△3	△1
投資その他の資産合計	4,960	4,797
固定資産合計	12,280	11,953
資産合計	37,618	35,478
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,200	1,019
未払法人税等	124	63
引当金	306	230
その他	315	364
流動負債合計	1,944	1,676
固定負債		
退職給付引当金	408	487
その他	130	45
固定負債合計	538	532
負債合計	2,482	2,208

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,360	8,360
資本剰余金	8,907	8,907
利益剰余金	20,717	19,218
自己株式	△3,149	△3,149
株主資本合計	34,835	33,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	666	492
為替換算調整勘定	△371	△558
その他の包括利益累計額合計	294	△66
少数株主持分	6	—
純資産合計	35,136	33,270
負債純資産合計	37,618	35,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	11,902	7,681
売上原価	9,173	5,939
売上総利益	2,729	1,742
販売費及び一般管理費		
営業サービス費	319	162
従業員給料及び賞与	472	510
退職給付費用	51	42
試験研究費	698	1,026
製品保証引当金繰入額	141	101
その他	1,067	1,048
販売費及び一般管理費合計	2,748	2,890
営業損失 (△)	△19	△1,148
営業外収益		
受取利息	32	5
受取配当金	26	26
その他	40	16
営業外収益合計	98	46
営業外費用		
為替差損	425	298
その他	9	1
営業外費用合計	434	299
経常損失 (△)	△355	△1,401
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
有形固定資産売却益	2	—
特別利益合計	5	—
税金等調整前四半期純損失 (△)	△350	△1,401
法人税、住民税及び事業税	68	51
法人税等調整額	△4	△44
法人税等合計	64	6
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△414	△1,408
少数株主利益	0	—
四半期純損失 (△)	△415	△1,408

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△414	△1,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△304	△174
為替換算調整勘定	△151	△187
その他の包括利益合計	△455	△361
四半期包括利益	△869	△1,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△869	△1,769
少数株主に係る四半期包括利益	△0	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△350	△1,401
減価償却費	353	354
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	64	84
その他の引当金の増減額 (△は減少)	98	△76
受取利息及び受取配当金	△58	△31
為替差損益 (△は益)	7	△33
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,298	1,649
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△726	△1,417
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,149	△102
その他	△117	377
小計	△3,883	△599
利息及び配当金の受取額	56	29
法人税等の支払額	△9	△93
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,836</b>	<b>△663</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,284	△440
定期預金の払戻による収入	2,589	433
有形固定資産の取得による支出	△118	△184
有形固定資産の売却による収入	2	1
無形固定資産の取得による支出	△8	△56
投資有価証券の償還による収入	1,000	—
子会社株式の取得による支出	—	△6
貸付けによる支出	△7	△7
貸付金の回収による収入	13	17
その他の支出	△7	△84
その他の収入	5	87
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,185</b>	<b>△240</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△93	△92
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△93</b>	<b>△92</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△102</b>	<b>△86</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,847	△1,081
現金及び現金同等物の期首残高	13,554	11,477
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	9	—
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>10,716</b>	<b>10,397</b>

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

最近における四半期毎の業績の推移

平成23年3月期 (連結)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
	平成22年4月 ～平成22年6月	平成22年7月 ～平成22年9月	平成22年10月 ～平成22年12月	平成23年1月 ～平成23年3月	平成22年4月 ～平成23年3月
売上高 (百万円)	4,827	7,075	4,466	4,405	20,773
売上総利益 (百万円)	1,123	1,606	1,132	882	4,742
営業利益又は営業損失 (△) (百万円)	△216	190	△234	△539	△792
経常損失 (△) (百万円)	△340	△20	△372	△432	△1,158
税金等調整前四半期 (当期) 純損失 (△) (百万円)	△340	△10	△358	△427	△1,135
四半期 (当期) 純損失 (△) (百万円)	△369	△46	△372	△436	△1,222
1株当たり四半期 (当期) 純 損失 (△) (円)	△20.28	△2.53	△20.45	△23.97	△67.24
総資産 (百万円)	38,735	39,011	38,332	37,618	37,618
純資産 (百万円)	35,745	35,519	35,481	35,136	35,136
受注高 (百万円)	9,272	3,083	2,974	4,688	20,017

平成24年3月期 (連結)

	第1四半期	第2四半期
	平成23年4月 ～平成23年6月	平成23年7月 ～平成23年9月
売上高 (百万円)	4,101	3,580
売上総利益 (百万円)	846	896
営業損失 (△) (百万円)	△585	△563
経常損失 (△) (百万円)	△709	△692
税金等調整前四半期純損失 (△) (百万円)	△709	△692
四半期純損失 (△) (百万円)	△706	△702
1株当たり四半期純損失 (△) (円)	△38.85	△38.60
総資産 (百万円)	37,519	35,478
純資産 (百万円)	34,343	33,270
受注高 (百万円)	4,041	1,887